

(3) 「同和地区の人はこわい」等という話を聞いた時の感想

(問 22 で「同和地区の人はこわい」とか、あるいは「同和対策は不公平だ」というような話を聞いたことがあると答えた人に)

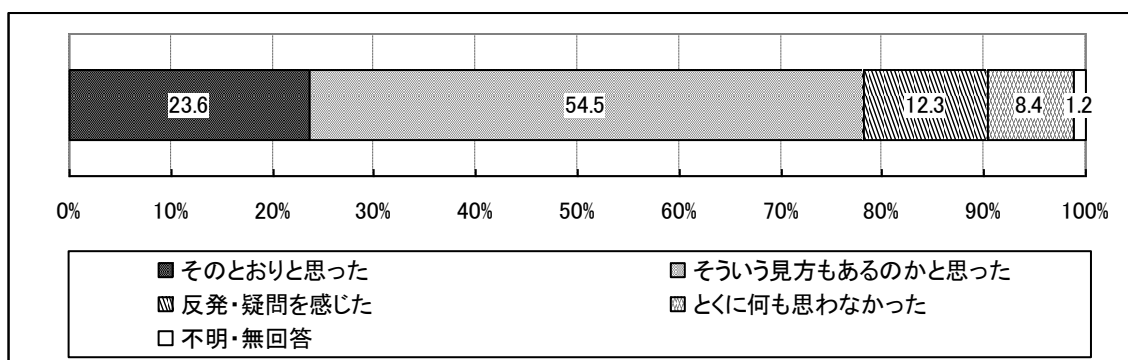
問 22-2 その話を聞いたとき、どう感じましたか。(○は1つ)

【表 5-2-3-9 「同和地区の人はこわい」等という話を聞いた時の感想】

(上段:人、下段:%)

	思 つ た と お り と	思 あ つ る の か と 思 っ た	感 反 発 ・ 疑 問 を 感 じ た	思 と く に 何 も 思 わ な か っ た	無 不 回 明 答 ・	該 当 者 合 計
市全体	98 23.6	226 54.5	51 12.3	35 8.4	5 1.2	415 100.0

【図 5-2-3-3 「同和地区の人はこわい」等という話を聞いた時の感想】



問 22 で「同和地区の人はこわい」とか、あるいは「同和対策は不公平だ」というような話を聞いたことが「ある」と回答した人に対して、その時どのように感じたかについて尋ねたところ、「そういう見方もあるのかと思った」と答えた人の割合が 54.5%と最も高く、次いで「そのとおりに思った」が 23.6%、「反発・疑問を感じた」が 12.3%となっている。

性別でみると、男性では「そういう見方もあるのかと思った」が 52.1%と最も高く、次いで「そのとおりに思った」が 23.2%、「とくに何も思わなかった」が 12.6%となっている。

女性では「そういう見方もあるのかと思った」が 56.2%と最も高く、次いで「そのとおりに思った」が 24.1%、「反発・疑問を感じた」が 13.3%となっている。

年齢別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、20 歳代では「そのとおりに思った」で 36.7%となっており、30 歳代、40 歳代、50 歳代、60 歳代、70 歳以上では「そういう見方もあるのかと思った」であり、数値は各々 56.7%、52.2%、59.7%、60.5%、50.6%となっている。

【表 5-2-3-10】

【表5-2-3-10 性別・年齢別 「同和地区の人はこわい」等という話を聞いた時の感想】

(上段:人、下段:%)

		思 つ た と お り と	思 あ る の か と 思 っ た の 見 方 も	感 反 発 じ た ・ 疑 問 を	思 と く わ な に 何 も か っ た	無 不 回 明 答 ・	該 当 者 合 計
市全体		98 23.6	226 54.5	51 12.3	35 8.4	5 1.2	415 100.0
性別	男性	44 23.2	99 52.1	22 11.6	24 12.6	1 0.5	190 100.0
	女性	49 24.1	114 56.2	27 13.3	11 5.4	2 1.0	203 100.0
	不明・無回答	5 22.7	13 59.1	2 9.1	0 0.0	2 9.1	22 100.0
年齢別	20歳代	11 36.7	10 33.3	6 20.0	3 10.0	0 0.0	30 100.0
	30歳代	13 19.4	38 56.7	8 11.9	8 11.9	0 0.0	67 100.0
	40歳代	22 31.9	36 52.2	7 10.1	4 5.8	0 0.0	69 100.0
	50歳代	14 22.6	37 59.7	6 9.7	3 4.8	2 3.2	62 100.0
	60歳代	16 18.6	52 60.5	10 11.6	7 8.1	1 1.2	86 100.0
	70歳以上	17 21.5	40 50.6	12 15.2	10 12.7	0 0.0	79 100.0
	不明・無回答	5 22.7	13 59.1	2 9.1	0 0.0	2 9.1	22 100.0

職業別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、「自営業」「民間正規雇用」「非正規雇用」「家事専業・学生・無職」では「そういう見方もあるのかと思った」であり、数値は各々55.0%、53.7%、59.6%、55.3%となっており、「公務員、教員」では「そのとおりに思った」で50.0%となっている。

【表5-2-3-11】

【表5-2-3-11 職業別 「同和地区の人はこわい」等という話を聞いた時の感想】

(上段:人、下段:%)

		思 つ た と お り と	思 あ る の か と 思 っ た の 見 方 も	感 反 発 じ た ・ 疑 問 を	思 と く わ な に 何 も か っ た	無 不 回 明 答 ・	該 当 者 合 計
市全体		98 23.6	226 54.5	51 12.3	35 8.4	5 1.2	415 100.0
自営業		14 23.3	33 55.0	8 13.3	5 8.3	0 0.0	60 100.0
公務員、教員		5 50.0	3 30.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	10 100.0
民間正規雇用		30 24.4	66 53.7	15 12.2	11 8.9	1 0.8	123 100.0
非正規雇用		12 25.5	28 59.6	5 10.6	2 4.3	0 0.0	47 100.0
家事専業・ 学生・無職		31 20.7	83 55.3	20 13.3	14 9.3	2 1.3	150 100.0
不明・無回答		6 24.0	13 52.0	2 8.0	2 8.0	2 8.0	25 100.0

学歴別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、すべての学歴で「そういう見方もあるのかと思った」であり、「中学卒」が44.1%、「高校卒」が58.7%、「短大卒」が51.1%、「大学卒」が58.9%となっている。【表5-2-3-12】

【表5-2-3-12 学歴別 「同和地区の人はこわい」等という話を聞いた時の感想】

(上段:人、下段:%)

	思 つ た と お り と	思 あ る の か と 見 方 も	感 反 発 ・ 疑 問 を	思 ど く わ な に な か つ た	無 不 明 回 答 ・	該 当 者 合 計
市全体	98 23.6	226 54.5	51 12.3	35 8.4	5 1.2	415 100.0
1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	15 25.4	26 44.1	7 11.9	11 18.6	0 0.0	59 100.0
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	31 21.7	84 58.7	16 11.2	9 6.3	3 2.1	143 100.0
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	24 26.7	46 51.1	15 16.7	5 5.6	0 0.0	90 100.0
4.大学、大学院	22 23.2	56 58.9	9 9.5	8 8.4	0 0.0	95 100.0
5.その他	0 0.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	3 100.0
不明・無回答	6 24.0	12 48.0	3 12.0	2 8.0	2 8.0	25 100.0

5-2-4. 同和地区やその住民との関わり

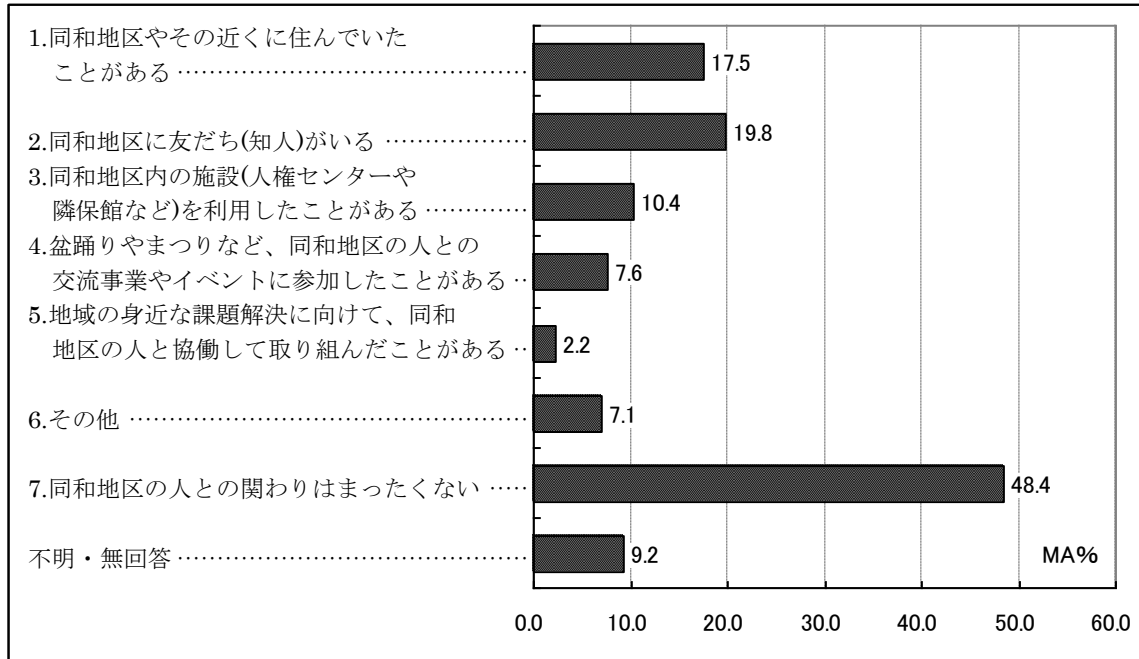
問23 あなたと、同和地区やその住民の方との関わりについてお答えください。(〇はいくつでも)

【表5-2-4-1 同和地区やその住民との関わり】

(上段:人、下段:MA%)

	1. 住 同 和 地 区 や そ の 近 く に	2. 同 和 地 区 に 友 だ ち が い る	3. 同 和 地 区 内 の 施 設 を 利 用 し た こ と が あ る	4. 同 和 地 区 に 参 加 し た こ と が あ る	5. 盆 踊 り や ま つ り な ど 、 イ ベ ン ト に 参 加 し た こ と が あ る	6. 協 働 し て 取 り 組 み な ど が あ る	7. 地 域 の 身 近 な 課 題 解 決 に 参 加 し た こ と が あ る	ま た 同 和 地 区 の 人 と の 関 わり は	無 不 明 回 答 ・	該 当 者 数
市全体	118 17.5	133 19.8	70 10.4	51 7.6	15 2.2	48 7.1	326 48.4	62 9.2	673 100.0	

【図5-2-4 同和地区やその住民との関わり】



同和地区やその住民の方との関わりについて尋ねたところ、「7.同和地区の人との関わりはまったくない」と答えた人の割合が48.4%と最も高く、次いで「2.同和地区に友だち(知人)がいる」が19.8%、「1.同和地区やその近くに住んでいたことがある」が17.5%となっている。

性別でみると、男性では「7.同和地区の人との関わりはまったくない」が43.5%と最も高く、次いで「2.同和地区に友だち(知人)がいる」が23.3%、「1.同和地区やその近くに住んでいたことがある」が18.0%となっている。

女性では「7.同和地区の人との関わりはまったくない」が52.8%と最も高く、次いで「1.同和地区やその近くに住んでいたことがある」が16.9%、「2.同和地区に友だち(知人)がいる」が16.7%となっている。

年齢別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、すべての年齢層で「7.同和地区の人との関わりはまったくない」であり、20歳代が57.8%、30歳代が52.8%、40歳代が47.5%、50歳代が44.3%、60歳代が50.8%、70歳以上が42.1%となっている。

【表5-2-4-2】

【表5-2-4-2 性別・年齢別 同和地区やその住民との関わり】

(上段:人、下段:%)

		1. 同和地区やその近くに 住んでいたことがある	2. 同和地区に友だち (知人)がいる	3. 同和地区内の施設 (人権センターや隣保館など) を利用したことがある	4. 同和地区の人との交流 事業やイベントに参加したことがある	5. 盆踊りやまつりなど、 協働して取り組んだことがある	6. その他	7. 同和地区の人との関わりは まったくない	無回答・不明	該当者数
市全体		118 17.5	133 19.8	70 10.4	51 7.6	15 2.2	48 7.1	326 48.4	62 9.2	673 100.0
性別	男性	51 18.0	66 23.3	23 8.1	17 6.0	8 2.8	23 8.1	123 43.5	31 11.0	283 100.0
	女性	61 16.9	60 16.7	44 12.2	33 9.2	7 1.9	24 6.7	190 52.8	27 7.5	360 100.0
	不明・無回答	6 20.0	7 23.3	3 10.0	1 3.3	0 0.0	1 3.3	13 43.3	4 13.3	30 100.0
年齢別	20歳代	6 9.4	10 15.6	7 10.9	4 6.3	1 1.6	10 15.6	37 57.8	2 3.1	64 100.0
	30歳代	28 22.0	25 19.7	12 9.4	11 8.7	1 0.8	9 7.1	67 52.8	5 3.9	127 100.0
	40歳代	20 20.2	22 22.2	12 12.1	7 7.1	3 3.0	7 7.1	47 47.5	4 4.0	99 100.0
	50歳代	14 14.4	24 24.7	16 16.5	8 8.2	2 2.1	6 6.2	43 44.3	12 12.4	97 100.0
	60歳代	23 17.7	22 16.9	10 7.7	11 8.5	4 3.1	8 6.2	66 50.8	11 8.5	130 100.0
	70歳以上	21 16.7	23 18.3	10 7.9	9 7.1	4 3.2	7 5.6	53 42.1	24 19.0	126 100.0
	不明・無回答	6 20.0	7 23.3	3 10.0	1 3.3	0 0.0	1 3.3	13 43.3	4 13.3	30 100.0

職業別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、「自営業」「民間正規雇用」「非正規雇用」「家事専業・学生・無職」では「7.同和地区の人との関わりはまったくない」であり、数値は各々38.6%、52.7%、47.9%、50.2%となっており、「公務員、教員」では「3.同和地区内の施設を利用したことがある」と「7.同和地区の人との関わりはまったくない」で、ともに40.0%となっている。

【表5-2-4-3】

【表5-2-4-3 職業別 同和地区やその住民との関わり】

(上段:人、下段:MA%)

		1. 同和地区やその近くに 住んでいたことがある	2. 同和地区に友だち (知人)がいる	3. 同和地区内の施設 (人権センターや隣保館など) を利用したことがある	4. 同和地区の人との交流 事業やイベントに参加したことがある	5. 盆踊りやまつりなど、 協働して取り組んだことがある	6. その他	7. 同和地区の人との関わりは まったくない	無回答・不明	該当者数
市全体		118 17.5	133 19.8	70 10.4	51 7.6	15 2.2	48 7.1	326 48.4	62 9.2	673 100.0
自営業		20 22.7	21 23.9	10 11.4	9 10.2	2 2.3	6 6.8	34 38.6	11 12.5	88 100.0
公務員、教員		3 20.0	4 26.7	6 40.0	2 13.3	1 6.7	0 0.0	6 40.0	0 0.0	15 100.0
民間正規雇用		27 14.5	33 17.7	15 8.1	11 5.9	3 1.6	19 10.2	98 52.7	11 5.9	186 100.0
非正規雇用		15 16.0	22 23.4	11 11.7	8 8.5	1 1.1	8 8.5	45 47.9	7 7.4	94 100.0
家事専業・ 学生・無職		47 18.3	47 18.3	25 9.7	20 7.8	8 3.1	14 5.4	129 50.2	26 10.1	257 100.0
不明・無回答		6 18.2	6 18.2	3 9.1	1 3.0	0 0.0	1 3.0	14 42.4	7 21.2	33 100.0

学歴別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、すべての学歴で「7.同和地区の人との関わりはまったくない」であり、「中学卒」が46.2%、「高校卒」が49.4%、「短大卒」が47.9%、「大学卒」が51.8%となっている。【表5-2-4-4】

【表5-2-4-4 学歴別 同和地区やその住民との関わり】

(上段:人、下段:MA%)

	1. 同和地区やその近くに 住んでいたことがある	2. 同和地区に (知人)がいる	3. 同和地区内の施設 を利用したことがある (人権センターや隣保館など)	4. 同和地区の人との交流 イベントに参加したことがある	5. 盆踊りやまつりなど、 同和地区の人との交流 イベントに参加したことがある	6. 地域的身近な課題解決に 向けて、同和地区の人と 協働して取り組んだことがある	7. 同和地区の人との関わりは まったくない	無回答・ 不明	該当者数
市全体	118 17.5	133 19.8	70 10.4	51 7.6	15 2.2	48 7.1	326 48.4	62 9.2	673 100.0
1. 中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	14 15.1	19 20.4	10 10.8	7 7.5	2 2.2	4 4.3	43 46.2	16 17.2	93 100.0
2. 高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	50 19.5	61 23.7	21 8.2	17 6.6	5 1.9	14 5.4	127 49.4	20 7.8	257 100.0
3. 短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	29 20.1	30 20.8	22 15.3	16 11.1	4 2.8	11 7.6	69 47.9	9 6.3	144 100.0
4. 大学、大学院	17 12.1	15 10.6	14 9.9	9 6.4	4 2.8	17 12.1	73 51.8	9 6.4	141 100.0
5. その他	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	3 100.0
不明・無回答	7 20.0	7 20.0	3 8.6	2 5.7	0 0.0	1 2.9	13 37.1	8 22.9	35 100.0

5-3 具体的な事象に関する意識と将来展望

5-3-1. 就職差別に関する現状認識と将来展望

(1) 同和地区の人に対する就職差別の現状認識

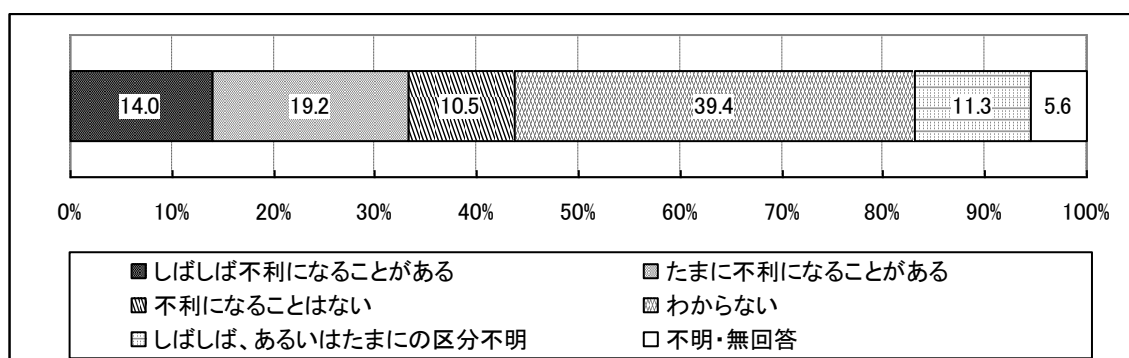
問 19 現在、同和地区の人は、就職するときに不利になることがあると思いますか。(○は1つ)

【表 5-3-1-1 同和地区の人に対する就職差別の現状認識】

(上段:人、下段:%)

	な し し ば し ば が 不 利 に な る	た ま に 不 利 に な る こ と が あ る	不 利 に な る こ と は な い	わ か ら な い	た し ば し ば、 あ る い は た ま に の 区 分 不 明 は	無 明 ・ 不 明 回 答	該 当 者 合 計
市全体	94 14.0	129 19.2	71 10.5	265 39.4	76 11.3	38 5.6	673 100.0

【図 5-3-1-1 同和地区の人に対する就職差別の現状認識】



※「わからない」等と回答しながら、問 19-1 に回答があった場合は、「しばしば、あるいはたまにの区分不明」として集計している。

同和地区の人は、就職するときに不利になることがあると思うかについて尋ねたところ、「しばしば不利になることがある」「たまに不利になることがある」「しばしば、あるいはたまにの区分不明」と答えた人の合計の割合は、44.5%となっている。一方で、「不利になることはない」と答えた人の割合は 10.5%となっている。

性別でみると、「しばしば不利になることがある」「たまに不利になることがある」「しばしば、あるいはたまにの区分不明」と答えた人の合計の割合は、男性が 50.2%、女性が 39.0%となっている。一方で、「不利になることはない」と答えた人の割合は、男性が 11.7%、女性が 9.7%となっている。

年齢別でみると、「しばしば不利になることがある」「たまに不利になることがある」「しばしば、あるいはたまにの区分不明」と答えた人の合計の割合は、70 歳以上が 49.9%と最も高く、次いで

60歳代が47.0%、50歳代が44.3%となっている。

一方で、「不利になることはない」と答えた人の割合は、20歳代が18.8%で最も高く、次いで40歳代が15.2%となっている。

【表5-3-1-2】

【表5-3-1-2 性別・年齢別 同和地区の人に対する就職差別の現状認識】

(上段:人、下段:%)

		なし しばしば 不利に なるに	たま に不利 になる	不利 に ない	わ か ら な い	た ま に の 区 分 不 明 は	無 回 答 ・	該 当 者 合 計
市全体		94 14.0	129 19.2	71 10.5	265 39.4	76 11.3	38 5.6	673 100.0
性別	男性	52 18.4	68 24.0	33 11.7	94 33.2	22 7.8	14 4.9	283 100.0
	女性	38 10.6	55 15.3	35 9.7	166 46.1	47 13.1	19 5.3	360 100.0
	不明・無回答	4 13.3	6 20.0	3 10.0	5 16.7	7 23.3	5 16.7	30 100.0
年齢別	20歳代	8 12.5	6 9.4	12 18.8	35 54.7	3 4.7	0 0.0	64 100.0
	30歳代	18 14.2	26 20.5	12 9.4	56 44.1	12 9.4	3 2.4	127 100.0
	40歳代	19 19.2	19 19.2	15 15.2	40 40.4	4 4.0	2 2.0	99 100.0
	50歳代	10 10.3	21 21.6	9 9.3	37 38.1	12 12.4	8 8.2	97 100.0
	60歳代	21 16.2	26 20.0	12 9.2	53 40.8	14 10.8	4 3.1	130 100.0
	70歳以上	14 11.1	25 19.8	8 6.3	39 31.0	24 19.0	16 12.7	126 100.0
	不明・無回答	4 13.3	6 20.0	3 10.0	5 16.7	7 23.3	5 16.7	30 100.0

職業別でみると、「しばしば不利になることがある」「たまに不利になることがある」「しばしば、あるいはたまにの区分不明」と答えた人の合計の割合は、「自営業」が52.3%で最も高く、次いで「民間正規雇用」が47.8%、「非正規雇用」が43.6%となっている。

一方で、「不利になることはない」と答えた人の割合は、「公務員、教員」が20.0%で最も高くなっている。【表5-3-1-3】

【表5-3-1-3 職業別 同和地区の人に対する就職差別の現状認識】

(上段:人、下段:%)

	な し ば し ば 不 利 に あ る	た ま に 不 利 に あ る	な る 不 利 に は な い	わ か ら な い	た ま に の 区 分 不 明 は	無 回 答 ・ 不 明	該 当 者 合 計
市全体	94 14.0	129 19.2	71 10.5	265 39.4	76 11.3	38 5.6	673 100.0
自営業	8 9.1	21 23.9	10 11.4	27 30.7	17 19.3	5 5.7	88 100.0
公務員、教員	1 6.7	4 26.7	3 20.0	6 40.0	1 6.7	0 0.0	15 100.0
民間正規雇用	33 17.7	40 21.5	22 11.8	71 38.2	16 8.6	4 2.2	186 100.0
非正規雇用	16 17.0	15 16.0	11 11.7	38 40.4	10 10.6	4 4.3	94 100.0
家事専業・ 学生・無職	32 12.5	45 17.5	21 8.2	117 45.5	24 9.3	18 7.0	257 100.0
不明・無回答	4 12.1	4 12.1	4 12.1	6 18.2	8 24.2	7 21.2	33 100.0

学歴別でみると、「しばしば不利になることがある」「たまに不利になることがある」「しばしば、あるいはたまにの区分不明」と答えた人の合計の割合は、「大学卒」が51.1%で最も高く、次いで「中学卒」が46.2%となっている。

一方で、「不利になることはない」と答えた人の割合は、「高校卒」が11.3%で最も高く、次いで「短大卒」が11.1%となっている。【表5-3-1-4】

【表5-3-1-4 学歴別 同和地区の人に対する就職差別の現状認識】

(上段:人、下段:%)

	な し ば し ば 不 利 に あ る	た ま に 不 利 に あ る	な る 不 利 に は な い	わ か ら な い	た ま に の 区 分 不 明 は	無 回 答 ・ 不 明	該 当 者 合 計
市全体	94 14.0	129 19.2	71 10.5	265 39.4	76 11.3	38 5.6	673 100.0
1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	16 17.2	11 11.8	9 9.7	32 34.4	16 17.2	9 9.7	93 100.0
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	32 12.5	51 19.8	29 11.3	104 40.5	31 12.1	10 3.9	257 100.0
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	14 9.7	24 16.7	16 11.1	69 47.9	12 8.3	9 6.3	144 100.0
4.大学、大学院	27 19.1	38 27.0	14 9.9	53 37.6	7 5.0	2 1.4	141 100.0
5.その他	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	3 100.0
不明・無回答	5 14.3	4 11.4	3 8.6	6 17.1	6 28.6	10 20.0	35 100.0

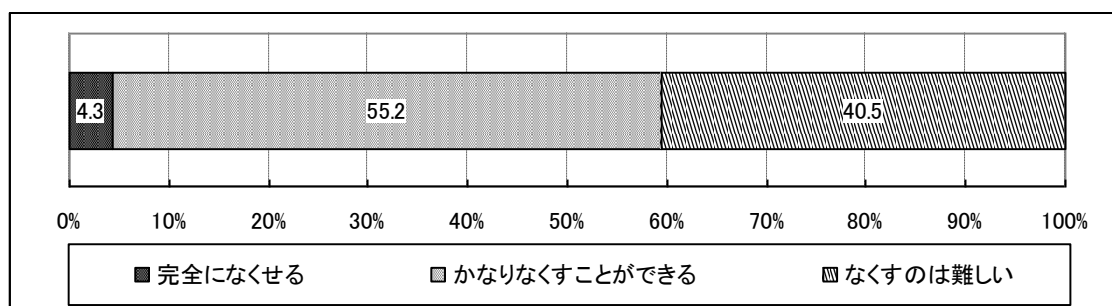
(2) 同和地区の人に対する就職差別の将来展望

(問 19 で、「現在、同和地区の人は、就職するときに不利になることがある」と答えた人に)
問 19-1 それは、近い将来、なくすことができますか。(○は1つ)

【表 5-3-1-5 同和地区の人に対する就職差別の将来展望】

	(上段:人、下段:%)			
	な完全 く全 せに せる	こかな とが り で なく す	難 し く い す の は	該 当 者 合 計
市全体	13 4.3	165 55.2	121 40.5	299 100.0

【図 5-3-1-2 同和地区の人に対する就職差別の将来展望】



問 19 で、「現在、同和地区の人は、就職するときに不利になることがある」と回答した人に対して、それは近い将来なくすことができると思うかについて尋ねたところ、「完全になくせる」「かなりなくすことができる」と回答した人の合計の割合は 59.5%となっているのに対し、「なくすのは難しい」は 40.5%となっている。

性別で見ると、「完全になくせる」「かなりなくすことができる」と答えた人の合計の割合は、男性が 56.3%、女性が 62.1%であるのに対し、「なくすのは難しい」は、男性が 43.7%、女性が 37.9%となっている。

年齢別で見ると、「完全になくせる」「かなりなくすことができる」と答えた人の合計の割合は、50 歳代が 67.4%で最も高く、次いで 70 歳以上が 66.7%、60 歳代が 65.6%となっている。

一方で、「なくすのは難しい」と答えた人の合計の割合は、30 歳代が 58.9%で最も高く、次いで 20 歳代が 52.9%、40 歳代が 40.5%となっている。

【表 5-3-1-6】

【表5-3-1-6 性別・年齢別 同和地区の人に対する就職差別の将来展望】

(上段:人、下段:%)

		な完全 なくせに せる	こかな りがり できなく す	難なく しいす のは	該 当 者 合 計
市全体		13 4.3	165 55.2	121 40.5	299 100.0
性別	男性	6 4.2	74 52.1	62 43.7	142 100.0
	女性	7 5.0	80 57.1	53 37.9	140 100.0
	不明・無回答	0 0.0	11 64.7	6 35.3	17 100.0
年齢別	20歳代	3 17.6	5 29.4	9 52.9	17 100.0
	30歳代	2 3.6	21 37.5	33 58.9	56 100.0
	40歳代	3 7.1	22 52.4	17 40.5	42 100.0
	50歳代	1 2.3	28 65.1	14 32.6	43 100.0
	60歳代	2 3.3	38 62.3	21 34.4	61 100.0
	70歳以上	2 3.2	40 63.5	21 33.3	63 100.0
	不明・無回答	0 0.0	11 64.7	6 35.3	17 100.0

職業別でみると、「完全になくせる」「かなりなくすことができる」と答えた人の合計の割合は、「公務員、教員」が66.7%で最も高く、次いで「家事専業・学生・無職」が66.4%、「自営業」が65.2%となっている。

一方で、「なくすのは難しい」と答えた人の合計の割合は、「民間正規雇用」が50.6%で最も高く、次いで「非正規雇用」が46.3%となっている。【表5-3-1-7】

【表5-3-1-7 職業別 同和地区の人に対する就職差別の将来展望】

(上段:人、下段:%)

		な完全 なくせに せる	こかな りがり できなく す	難なく しいす のは	該 当 者 合 計
市全体		13 4.3	165 55.2	121 40.5	299 100.0
自営業		2 4.3	28 60.9	16 34.8	46 100.0
公務員、教員		1 16.7	3 50.0	2 33.3	6 100.0
民間正規雇用		6 6.7	38 42.7	45 50.6	89 100.0
非正規雇用		1 2.4	21 51.2	19 46.3	41 100.0
家事専業・ 学生・無職		3 3.0	64 63.4	34 33.7	101 100.0
不明・無回答		0 0.0	11 68.8	5 31.3	16 100.0

学歴別でみると、「完全になくせる」「かなりなくすことができる」と答えた人の合計の割合は、「大学卒」が66.7%で最も高く、次いで「中学卒」が62.8%となっている。

一方で、「なくすのは難しい」と答えた人の合計の割合は、「短大卒」が50.0%と最も高く、次いで「高校卒」が41.2%となっている。【表5-3-1-8】

【表 5-3-1-8 学歴別 同和地区の人に対する就職差別の将来展望】

(上段:人、下段:%)

	な 完 全 に せ る	こ な り が で き る	難 し い の は	該 当 者 合 計
市全体	13 4.3	165 55.2	121 40.5	299 100.0
1. 中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	1 2.3	26 60.5	16 37.2	43 100.0
2. 高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	6 5.3	61 53.5	47 41.2	114 100.0
3. 短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	3 6.0	22 44.0	25 50.0	50 100.0
4. 大学、大学院	3 4.2	45 62.5	24 33.3	72 100.0
5. その他	0 0.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0
不明・無回答	0 0.0	11 57.9	8 42.1	19 100.0

5-3-2. 結婚差別に関する現状認識と将来展望

(1) 同和地区の人に対する結婚差別の現状認識

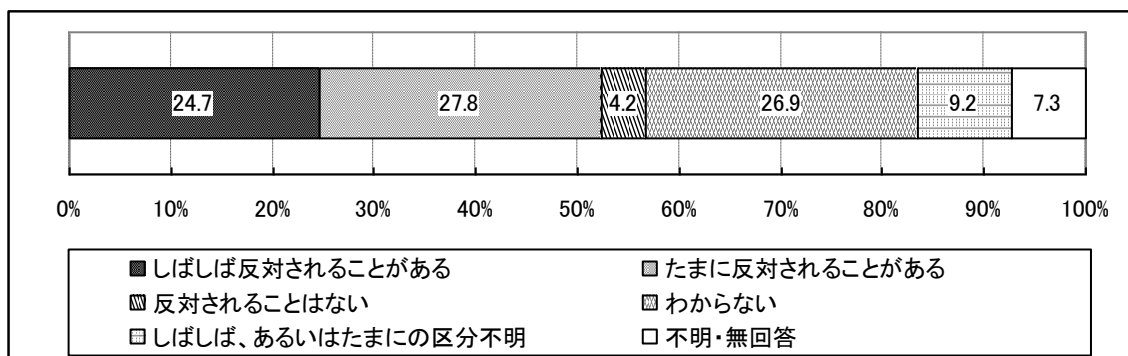
問 20 現在、同和地区の人は、結婚する際に相手の親族等に反対されることがあると思いますか。
(〇は1つ)

【表 5-3-2-1 同和地区の人に対する結婚差別の現状認識】

(上段:人、下段:%)

	さ し ば し ば 反 対 さ れ る こ と が あ る	さ た ま に 反 対 さ れ る こ と が あ る	こ と は な い	わ か ら な い	た し ば し ば 、 あ る い は た ま に の 区 分 不 明 は	無 不 明 回 答 ・	該 当 者 合 計
市全体	166 24.7	187 27.8	28 4.2	181 26.9	62 9.2	49 7.3	673 100.0

【図 5-3-2-1 同和地区の人に対する結婚差別の現状認識】



※「わからない」等と回答しながら、問 20-1 に回答があった場合は、「しばしば、あるいはたまにの区分不明」として集計している。

同和地区の人は、結婚する際に相手の親族に等に反対されることがあると思うかについて尋ねたところ、「しばしば反対されることがある」「たまに反対されることがある」「しばしば、あるいはたまにの区分不明」と回答した人の合計の割合は61.7%であるのに対し、「反対されることはない」は4.2%となっている。

性別でみると、「しばしば反対されることがある」「たまに反対されることがある」「しばしば、あるいはたまにの区分不明」と答えた人の合計の割合は、男性が66.1%、女性が58.7%であるのに対し、「反対されることはない」は、男性が3.5%、女性が4.4%となっている。

年齢別でみると、「しばしば反対されることがある」「たまに反対されることがある」「しばしば、あるいはたまにの区分不明」と答えた人の合計の割合は、30歳代が66.9%で最も高く、次いで50歳代が62.9%、40歳代が62.7%となっている。

一方で、「反対されることはない」と答えた人の合計の割合は、20歳代が9.4%で最も高くなっている。【表5-3-2-2】

【表5-3-2-2 性別・年齢別 同和地区の人に対する結婚差別の現状認識】

(上段:人、下段:%)

		さし しば される こと が あ る	さ た ま に 反 対 が あ る	こ と は な い	わ か ら な い	た ま に の 区 分 不 明 は	無 不 明 答 ・	該 当 者 合 計
市全体		166 24.7	187 27.8	28 4.2	181 26.9	62 9.2	49 7.3	673 100.0
性別	男性	77 27.2	86 30.4	10 3.5	65 23.0	24 8.5	21 7.4	283 100.0
	女性	83 23.1	92 25.6	16 4.4	110 30.6	36 10.0	23 6.4	360 100.0
	不明・無回答	6 20.0	9 30.0	2 6.7	6 20.0	2 6.7	5 16.7	30 100.0
年齢別	20歳代	19 29.7	18 28.1	6 9.4	19 29.7	1 1.6	1 1.6	64 100.0
	30歳代	42 33.1	37 29.1	7 5.5	31 24.4	6 4.7	4 3.1	127 100.0
	40歳代	30 30.3	26 26.3	4 4.0	30 30.3	6 6.1	3 3.0	99 100.0
	50歳代	22 22.7	31 32.0	3 3.1	23 23.7	8 8.2	10 10.3	97 100.0
	60歳代	28 21.5	35 26.9	4 3.1	41 31.5	15 11.5	7 5.4	130 100.0
	70歳以上	19 15.1	31 24.6	2 1.6	31 24.6	24 19.0	19 15.1	126 100.0
	不明・無回答	6 20.0	9 30.0	2 6.7	6 20.0	2 6.7	5 16.7	30 100.0

職業別でみると、「しばしば反対されることがある」「たまに反対されることがある」「しばしば、あるいはたまにの区分不明」と答えた人の合計の割合は、「自営業」が68.2%で最も高く、次いで「民間正規雇用」が67.7%、「公務員、教員」が66.7%となっている。

一方で、「反対されることはない」と答えた人の合計の割合は、「非正規雇用」が6.4%で最も高くなっている。【表5-3-2-3】

【表5-3-2-3 職業別 同和地区の人に対する結婚差別の現状認識】

(上段:人、下段:%)

	さし れば しば しば 反 対 が あ る	さ た ま に 反 対 が あ る	こ と は さ れ な い	わ か ら な い	た ま に の 区 分 不 明 は	無 不 明 回 答 ・	該 当 者 合 計
市全体	166 24.7	187 27.8	28 4.2	181 26.9	62 9.2	49 7.3	673 100.0
自営業	17 19.3	30 34.1	4 4.5	17 19.3	13 14.8	7 8.0	88 100.0
公務員、教員	7 46.7	3 20.0	0 0.0	5 33.3	0 0.0	0 0.0	15 100.0
民間正規雇用	62 33.3	53 28.5	8 4.3	47 25.3	11 5.9	5 2.7	186 100.0
非正規雇用	25 26.6	26 27.7	6 6.4	26 27.7	5 5.3	6 6.4	94 100.0
家事専業・ 学生・無職	49 19.1	68 26.5	8 3.1	79 30.7	29 11.3	24 9.3	257 100.0
不明・無回答	6 18.2	7 21.2	2 6.1	7 21.2	4 12.1	7 21.2	33 100.0

学歴別でみると、「しばしば反対されることがある」「たまに反対されることがある」「しばしば、あるいはたまにの区分不明」と答えた人の合計の割合は、「大学卒」が74.5%で最も高く、次いで「短大卒」が59.0%となっている。

一方で、「反対されることがない」と答えた人の合計の割合は、「高校卒」が5.8%で最も高くなっている。【表5-3-2-4】

【表5-3-2-4 学歴別 同和地区の人に対する結婚差別の現状認識】

(上段:人、下段:%)

	さし れば しば しば 反 対 が あ る	さ た ま に こ と は さ れ な い	こ と は さ れ な い	わ か ら な い	た ま に の 区 分 不 明 は	無 不 明 回 答 ・	該 当 者 合 計
市全体	166 24.7	187 27.8	28 4.2	181 26.9	62 9.2	49 7.3	673 100.0
1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	11 11.8	28 30.1	2 2.2	27 29.0	15 16.1	10 10.8	93 100.0
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	61 23.7	66 25.7	15 5.8	78 30.4	21 8.2	16 6.2	257 100.0
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	35 24.3	35 24.3	6 4.2	42 29.2	15 10.4	11 7.6	144 100.0
4.大学、大学院	51 36.2	49 34.8	3 2.1	28 19.9	5 3.5	5 3.5	141 100.0
5.その他	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	3 100.0
不明・無回答	8 22.9	8 22.9	2 5.7	6 17.1	5 14.3	6 17.1	35 100.0

(2) 同和地区の人に対する結婚差別の将来展望

(問 20 で、「現在、同和地区の人は、結婚する際に相手の親族等に反対されることがある」と答えた人に)

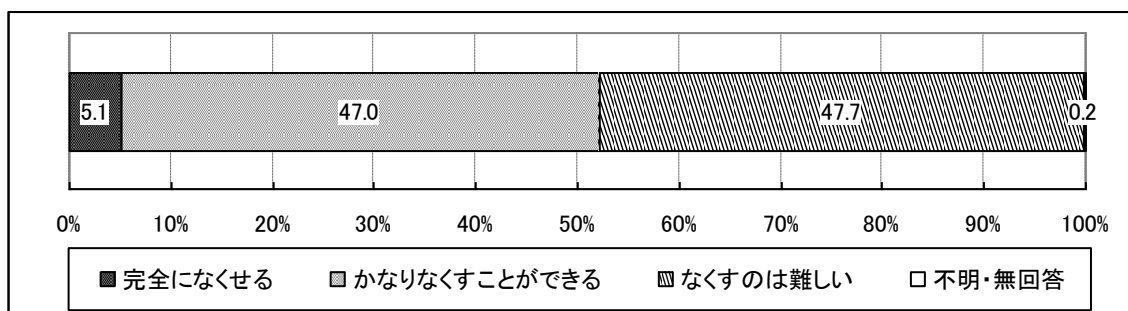
問 20-1 それは、近い将来、なくすことができますか。(○は1つ)

【表 5-3-2-5 同和地区の人に対する結婚差別の将来展望】

(上段:人、下段:%)

	完全 なく せる	かなり なく す こと が 可 能 な 	なく す の は 難 し い	不明・ 無回答	該 当 者 合 計
市全体	21 5.1	195 47.0	198 47.7	1 0.2	415 100.0

【図 5-3-2-2 同和地区の人に対する結婚差別の将来展望】



問 20 で、「現在、同和地区の人は、結婚する際に相手の親族等に反対されることがある」と回答した人に対して、それは近い将来なくすことができると思うかについて尋ねたところ、「完全になくせる」「かなりなくすことができる」と答えた人の合計の割合は 52.1%となっているのに対し、「なくすのは難しい」は 47.7%となっている。

性別で見ると、「完全になくせる」「かなりなくすことができる」と答えた人の合計の割合は、男性が 51.9%、女性が 51.2%であるのに対し、「なくすのは難しい」は、男性が 47.6%、女性が 48.8%となっている。

年齢別で見ると、「完全になくせる」「かなりなくすことができる」と答えた人の合計の割合は、70歳以上が 64.9%で最も高く、次いで 50歳代が 62.3%、60歳代が 56.4%となっている。

一方で、「なくすのは難しい」と答えた人の合計の割合は、20歳代が 65.8%で最も高く、次いで 40歳代が 61.3%、30歳代が 55.3%となっている。

【表 5-3-2-6】

【表5-3-2-6 性別・年齢別 同和地区の人に対する結婚差別の将来展望】

(上段:人、下段:%)

		な完全 く全 せに る	こ か な が り で な く す 可 能 な こ と	難 し く い す の は	無 不 明 回 答 ・	該 当 者 合 計
市全体		21 5.1	195 47.0	198 47.7	1 0.2	415 100.0
性別	男性	11 5.9	86 46.0	89 47.6	1 0.5	187 100.0
	女性	9 4.3	99 46.9	103 48.8	0 0.0	211 100.0
	不明・無回答	1 5.9	10 58.8	6 35.3	0 0.0	17 100.0
年齢別	20歳代	3 7.9	10 26.3	25 65.8	0 0.0	38 100.0
	30歳代	1 1.2	37 43.5	47 55.3	0 0.0	85 100.0
	40歳代	5 8.1	19 30.6	38 61.3	0 0.0	62 100.0
	50歳代	2 3.3	36 59.0	23 37.7	0 0.0	61 100.0
	60歳代	4 5.1	40 51.3	33 42.3	1 1.3	78 100.0
	70歳以上	5 6.8	43 58.1	26 35.1	0 0.0	74 100.0
	不明・無回答	1 5.9	10 58.8	6 35.3	0 0.0	17 100.0

職業別でみると、「完全になくせる」「かなりなくすことができる」と答えた人の合計の割合は、「公務員、教員」が70.0%で最も高く、次いで「自営業」が65.0%となっている。

一方で、「なくすのは難しい」と答えた人の合計の割合は、「民間正規雇用」が58.7%で最も高く、次いで「非正規雇用」が51.8%となっている。【表5-3-2-7】

【表5-3-2-7 職業別 同和地区の人に対する結婚差別の将来展望】

(上段:人、下段:%)

		な完全 く全 せに る	こ か な が り で な く す 可 能 な こ と	難 し く い す の は	無 不 明 回 答 ・	該 当 者 合 計
市全体		21 5.1	195 47.0	198 47.7	1 0.2	415 100.0
自営業		5 8.3	34 56.7	20 33.3	1 1.7	60 100.0
公務員、教員		0 0.0	7 70.0	3 30.0	0 0.0	10 100.0
民間正規雇用		8 6.3	44 34.9	74 58.7	0 0.0	126 100.0
非正規雇用		1 1.8	26 46.4	29 51.8	0 0.0	56 100.0
家事専業・ 学生・無職		5 3.4	74 50.7	67 45.9	0 0.0	146 100.0
不明・無回答		2 11.8	10 58.8	5 29.4	0 0.0	17 100.0

学歴別でみると、「完全になくせる」「かなりなくすことができる」と答えた人の合計の割合は、「中学卒」が57.4%で最も高く、次いで「短大卒」が51.8%となっている。

一方で、「なくすのは難しい」と答えた人の合計の割合は、「高校卒」が50.7%で最も高く、次いで「大学卒」が48.6%となっている。【表5-3-2-8】

【表5-3-2-8 学歴別 同和地区の人に対する結婚差別の将来展望】

(上段:人、下段:%)

	な 完 全 に せ に る	こ か な り な く す こ と が で き る	難 し く す の は	無 不 明 回 答	該 当 者 合 計
市全体	21 5.1	195 47.0	198 47.7	1 0.2	415 100.0
1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	4 7.4	27 50.0	22 40.7	1 1.9	54 100.0
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	8 5.4	65 43.9	75 50.7	0 0.0	148 100.0
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	4 4.7	40 47.1	41 48.2	0 0.0	85 100.0
4.大学、大学院	3 2.9	51 48.6	51 48.6	0 0.0	105 100.0
5.その他	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	2 100.0
不明・無回答	2 9.5	12 57.1	7 33.3	0 0.0	21 100.0

5-4 同和問題に関する差別をなくすための意識、行動の傾向

5-4-1. 差別的な発言に対する態度

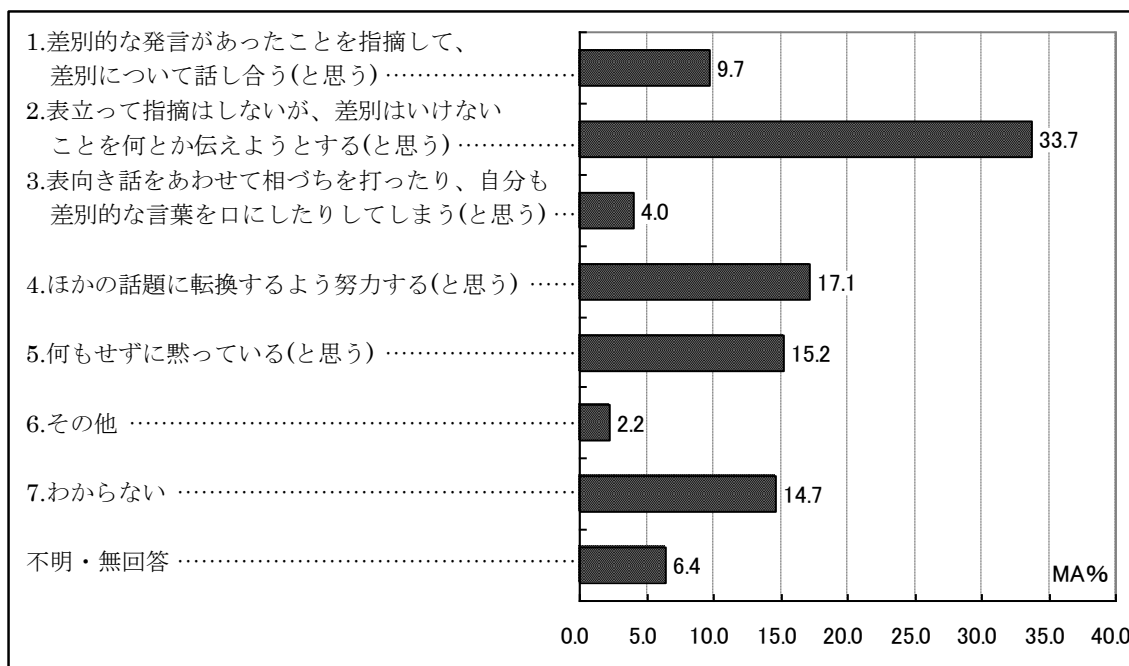
問 21 学校や職場、日常生活の中で、誰かが同和地区の人に対する差別的な発言をしたとき、あなたはこういった態度をとりますか。(○は1つ)

【表5-4-1-1 差別的な発言に対する態度】

(上段:人、下段:MA%)

	1. 差別的な発言があったことを指摘して、差別について話し合う(と思う)	2. 表立って指摘はしないが、差別はいけないことを何とか伝えようとする(と思う)	3. 表向き話をあわせて相づちを打ったり、自分も差別的な言葉を口にしたりしてしまう(と思う)	4. ほかの話題に転換するよう努力する(と思う)	5. 何もせずに黙っている(と思う)	6. その他	7. わからない	不明・無回答	該当者数
市全体	65 9.7	227 33.7	27 4.0	115 17.1	102 15.2	15 2.2	99 14.7	43 6.4	673 100.0

【図5-4-1 差別的な発言に対する態度】



※単一回答の設問であるが、複数回答が多数あったため、すべて有効とした。

学校や職場、日常生活の中で、誰かが同和地区の人に対する差別的な発言をしたときの態度について尋ねたところ、「2.表立って指摘はしないが、差別はいけないことを何とか伝えようとする(と思う)」が 33.7%と最も高く、次いで「4.ほかの話題に転換するよう努力する(と思う)」が 17.1%、「5.何もせずに黙っている(と思う)」が 15.2%となっている。

性別でみると、男性では「2.表立って指摘はしないが、差別はいけないことを何とか伝えようとする(と思う)」が 35.7%と最も高く、次いで「4.ほかの話題に転換するよう努力する(と思う)」が 18.0%、「5.何もせずに黙っている(と思う)」が 14.1%となっている。

女性では「2.表立って指摘はしないが、差別はいけないことを何とか伝えようとする(と思う)」が 31.7%と最も高く、次いで「7.わからない」が 17.5%、「4.ほかの話題に転換するよう努力する(と思う)」が 16.9%となっている。

年齢別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、すべての年齢層で「2.表立って指摘はしないが、差別はいけないことを何とか伝えようとする(と思う)」であり、20歳代が 32.8%、30歳代が 32.3%、40歳代が 31.3%、50歳代が 32.0%、60歳代が 36.2%、70歳以上が 34.9%となっている。

【表5-4-1-2】

【表5-4-1-2 性別・年齢別 差別的な発言に対する態度】

(上段:人、下段:%)

		1. 差別的な発言(と 指摘し合う(と 思う))	2. 表立って指 摘はしないが、 伝えようとする (と思う))	3. 表向き話 をかわせて相 づちを	4. ほかの 話題に転換 するよう	5. 何も せずに黙っ ている(と 思う))	6. そ の他	7. わ からな い	無 回 答・ 不 明	該 当 者 数
市全体		65 9.7	227 33.7	27 4.0	115 17.1	102 15.2	15 2.2	99 14.7	43 6.4	673 100.0
性別	男性	25 8.8	101 35.7	13 4.6	51 18.0	40 14.1	9 3.2	33 11.7	23 8.1	283 100.0
	女性	37 10.3	114 31.7	13 3.6	61 16.9	56 15.6	6 1.7	63 17.5	18 5.0	360 100.0
	不明・無回答	3 10.0	12 40.0	1 3.3	3 10.0	6 20.0	0 0.0	3 10.0	2 6.7	30 100.0
年齢別	20歳代	7 10.9	21 32.8	2 3.1	13 20.3	10 15.6	2 3.1	7 10.9	2 3.1	64 100.0
	30歳代	17 13.4	41 32.3	7 5.5	19 15.0	22 17.3	4 3.1	14 11.0	5 3.9	127 100.0
	40歳代	10 10.1	31 31.3	4 4.0	19 19.2	16 16.2	4 4.0	14 14.1	2 2.0	99 100.0
	50歳代	8 8.2	31 32.0	3 3.1	21 21.6	10 10.3	3 3.1	14 14.4	9 9.3	97 100.0
	60歳代	12 9.2	47 36.2	4 3.1	13 10.0	24 18.5	1 0.8	24 18.5	8 6.2	130 100.0
	70歳以上	8 6.3	44 34.9	6 4.8	27 21.4	14 11.1	1 0.8	23 18.3	15 11.9	126 100.0
	不明・無回答	3 10.0	12 40.0	1 3.3	3 10.0	6 20.0	0 0.0	3 10.0	2 6.7	30 100.0

職業別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、すべてで「2.表立って指摘はしないが、差別はいけないことを何とか伝えようとする(と思う)」であり、「自営業」が 33.0%、「公務員、教員」が 33.3%、「民間正規雇用」が 34.4%、「非正規雇用」が 35.1%、「家事専業・学生・無職」が 32.7%となっている。【表5-4-1-3】

【表5-4-1-3 職業別 差別的な発言に対する態度】

(上段:人、下段:MA%)

	1. 指摘して、差別について話しかう(と思う)	2. 差別はいいないことを何とか伝えようとする(と思う)	3. 表立って指摘はしないが、口にしたたり、自分も差別的な言葉を	4. ほかの話題に転換するよう努力する(と思う)	5. 何もせずに黙っている(と思う)	6. その他	7. わからない	無不明 回答・	該当者数
市全体	65 9.7	227 33.7	27 4.0	115 17.1	102 15.2	15 2.2	99 14.7	43 6.4	673 100.0
自営業	6 6.8	29 33.0	2 2.3	16 18.2	15 17.0	1 1.1	9 10.2	10 11.4	88 100.0
公務員、教員	1 6.7	5 33.3	0 0.0	3 20.0	2 13.3	2 6.7	3 20.0	0 0.0	15 100.0
民間正規雇用	22 11.8	64 34.4	9 4.8	36 19.4	28 15.1	6 3.2	21 11.3	7 3.8	186 100.0
非正規雇用	7 7.4	33 35.1	4 4.3	13 13.8	13 13.8	1 1.1	16 17.0	8 8.5	94 100.0
家事専業・ 学生・無職	26 10.1	84 32.7	10 3.9	43 16.7	36 14.0	6 2.3	45 17.5	16 6.2	257 100.0
不明・無回答	3 9.1	12 36.4	2 6.1	4 12.1	8 24.2	0 0.0	5 15.2	2 6.1	33 100.0

学歴別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、すべての学歴で「2.表立って指摘はしないが、差別はいいないことを何とか伝えようとする(と思う)」であり、「中学卒」が32.3%、「高校卒」が34.6%、「短大卒」が29.2%、「大学卒」が36.9%となっている。

【表5-4-1-4】

【表5-4-1-4 学歴別 差別的な発言に対する態度】

(上段:人、下段:MA%)

	1. 指摘して、差別について話しかう(と思う)	2. 差別はいいないことを何とか伝えようとする(と思う)	3. 表立って指摘はしないが、口にしたたり、自分も差別的な言葉を	4. ほかの話題に転換するよう努力する(と思う)	5. 何もせずに黙っている(と思う)	6. その他	7. わからない	無不明 回答・	該当者数
市全体	65 9.7	227 33.7	27 4.0	115 17.1	102 15.2	15 2.2	99 14.7	43 6.4	673 100.0
1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	3 3.2	30 32.3	5 5.4	16 17.2	14 15.1	1 1.1	22 23.7	10 10.8	93 100.0
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	22 8.6	89 34.6	9 3.5	35 13.6	39 15.2	8 3.1	47 18.3	13 5.1	257 100.0
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	19 13.2	42 29.2	7 4.9	22 15.3	24 16.7	5 3.5	18 12.5	9 6.3	144 100.0
4.大学、大学院	17 12.1	52 36.9	5 3.5	39 27.7	19 13.5	1 0.7	5 3.5	8 5.7	141 100.0
5.その他	1 33.3	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0
不明・無回答	3 8.6	12 34.3	2 2.9	4 8.6	8 17.1	0 0.0	5 20.0	2 8.6	35 100.0